

Challenging Spirits for Frontier.

第83期 株主通信

2016.4.1 ~ 2017.3.31

特集：第一次中期経営計画

総合エネルギーサービス企業グループへの進化

おかげさまで90周年



株主の皆様へ



代表取締役社長 崎村忠士

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第83期(平成28年4月～平成29年3月)業績ならびに事業活動等についてご報告いたします。

✓ 当期のポイント

- 1 石油製品販売数量拡大により売上高が増加
- 2 成長事業への投資が先行したため営業利益は減少
- 3 創業90周年を記念して記念配当を実施

経営環境について

当期のわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策推進の効果により、景気及び企業収益は緩やかな回復基調で推移しました。また、雇用・所得環境の改善により個人消費は持ち直しの動きがみられました。一方で海外情勢への不安から為替の大幅な変動や株安など、景気を下押しするリスクもあり、先行きは不透明な状況が続きました。

国内エネルギー業界においては、原油価格の下落は前年度に底を打ち、緩やかな上昇傾向で推移しました。家庭向け需要は、11月の急激な冷え込みなどにより一時的に高まりをみせましたが、定着した節約志向の影響は大きく年間では減少しました。

業績について

このような環境の中、当社は、中期経営計画「第三の創業2016」の最終年度となる当期において、「事業会社の自立と成長」と「コア事業の強化」をさらに推進し、各事業会社の成長領域への経営資源の配分を進めました。

『エネルギー卸・小売周辺事業(B to C事業)』においては、小売顧客の拡大に取り組み顧客軒数は純増しました。また、店舗の統廃合により卸・小売事業の連携とそれに伴うコスト低減が進みました。さらに、家庭向け電力販売事業を推進しました。

『エネルギーソリューション事業(B to B事業)』においては、石油事業では、市況の変化に対応した販売施策により販売数量を拡大しました。法人向け電力販売事業では、官公庁や学校施設への電力供給を推進しました。省エネソリューション事業では、太陽光発電所の分譲販売に加えて、工場排水のコスト低減やESCO方式によるソリューション提案の取り組みを強化しました。

『非エネルギー及び海外事業』においては、自転車事業のシナネンサイクル株式会社は、卸営業体制の強化や、小売チェーン「ダイシャリン」の新店舗開設により販売台数を伸ばしました。

環境・リサイクル事業の品川開発株式会社は、東京都江東区の総合産業廃棄物処理施設稼働により、従来の木質系廃棄物から取扱品目が大幅に増加しました。また、木質系産業廃棄物処理量を拡大させました。

抗菌事業の株式会社シナネンゼオミックは、新たに開発した消臭・吸着剤ダッシュライトシリーズの量産化技術を確立し、戦略商品として塗料や樹脂成型分野など幅広い分野で用途開発を進めました。

システム事業の株式会社ミノスは、電力自由化に対応する顧客管理システム(電力CIS)をリリースし、取引先とその顧客軒数を順調に増やしました。

以上の結果、当期の業績については、石油製品の販売数量増加により、売上高は2,182億円(前期比4.4%増)となりました。また、太陽光発電所の分譲販売は好調に推移したものの、新規廃棄物処理施設並びにLPガス及び電力販売管理システムの開発にかかる投資が先行したことから、営業利益は29億円(前期比16.3%減)、経常利益は34億円(前期比19.9%減)となりました。しかしながら、当社及びグループ企業において複数の土地の売却や収用により特別利益6.1億円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は25億円(前期比16.4%増)となりました。

なお、前期実績には、LPガスボンベの軒下在庫数量に係る見積り算定方法の変更の影響額7.7億円が含まれています。その結果、前期の営業利益、経常利益は増加しましたが、当期の実績に影響はありません。

今後の取り組みについて

当社グループのコア事業である石油・ガス事業を取り巻く環境は、国内の人口減少や燃焼機器の省エネ性能向上により徐々に厳しさを増してきました。さらに電力・都市ガスの小売自由化により、市場は劇的に変化していくことが予想されます。また、世界的

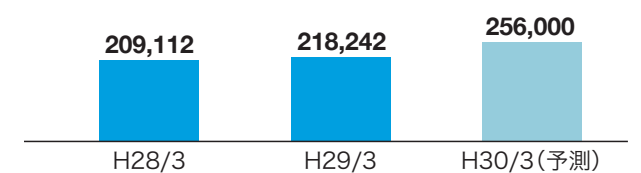
な温室効果ガス削減の枠組み「パリ協定」の採択に象徴されるように、環境に優しいエネルギーのニーズが高まりをみせています。

当社は、こうした環境変化とお客様のニーズの変化に対応するため、エネルギー供給を目的とする会社から、地球環境に優しいエネルギー供給を手段とし、お客様の快適な住まいと暮らしを実現する「総合エネルギーサービス企業グループへの進化」を目指した新たな中期経営計画「第一次中期経営計画」を平成29年4月より実施していきます。

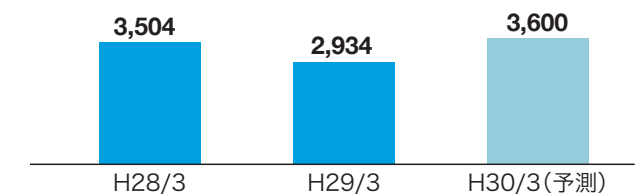
株主の皆様へ

当社は、株主各位に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけ、連結配当性向30%以上を目安に、配当を基本とした株主還元を実施していきます。当期の配当としては、創業90周年を迎えることから、株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、普通配当75円とあわせて、25円の記念配当を実施します。年間配当金は100円となります。次期の配当につきましては1株当たり75円の普通配当を予定しています。

売上高(単位：百万円)



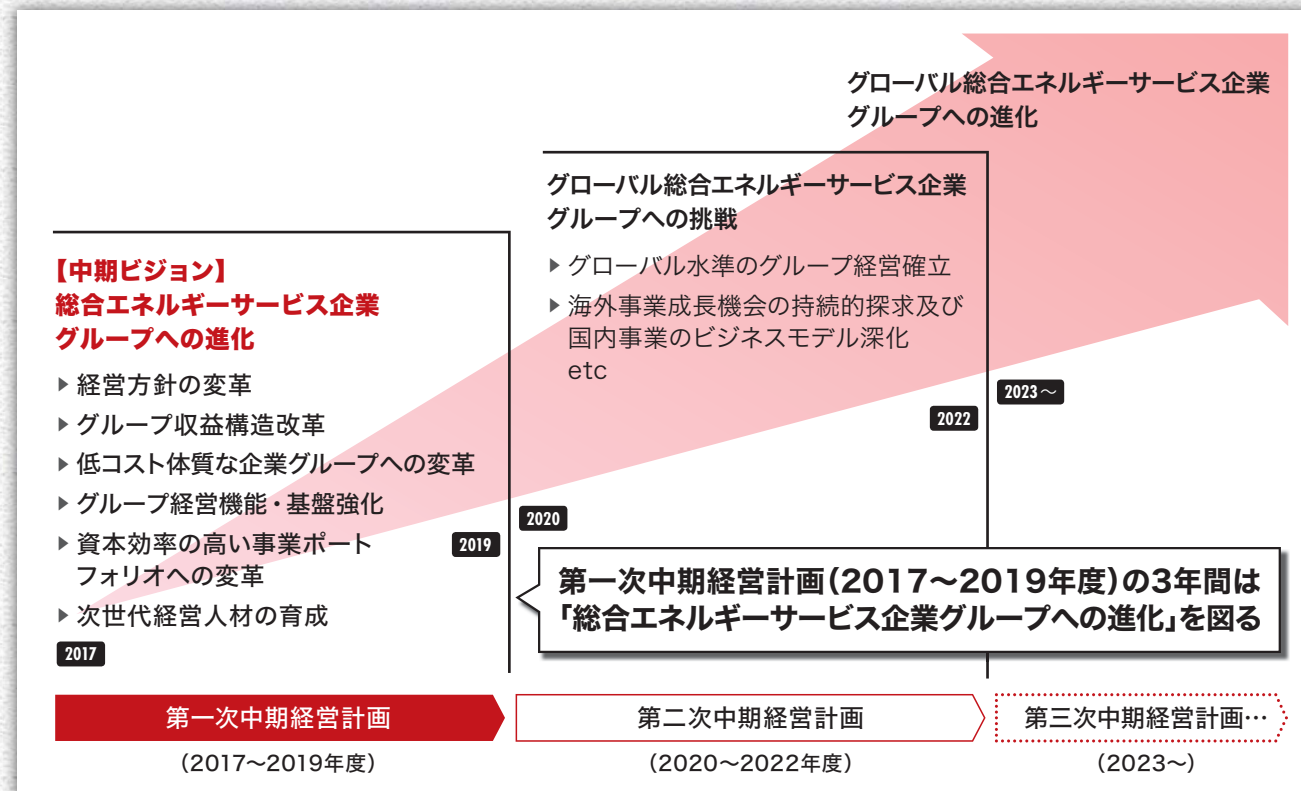
営業利益(単位：百万円)



特集 第一次中期経営計画(2017~2019年度)

第一次中期経営計画では「総合エネルギーサービス企業グループへの進化」をビジョンに掲げ、連結営業利益48億円、ROE6.0%の達成を目指し、6つのグループ全体戦略を策定しました。

中期ビジョン及び今後の成長ストーリー



6つの「グループ全体戦略」

1 経営方針の変革

「企業文化」「意思決定」「経営方針」「主たる業績目標」の仕組みを変革

2 グループ収益構造改革

グループの営業利益構成比を「石油・ガス事業」より「石油・ガス事業以外」へシフト

3 低コスト体質な企業グループへの変革

グループにおける余剰経費削減を通じ、低コスト体質な企業グループへ変革

4 グループ経営機能・基盤強化

経営機能(財務経理・人事・広報IR等)や経営基盤(コーポレートガバナンス等)を強化し事業推進加速

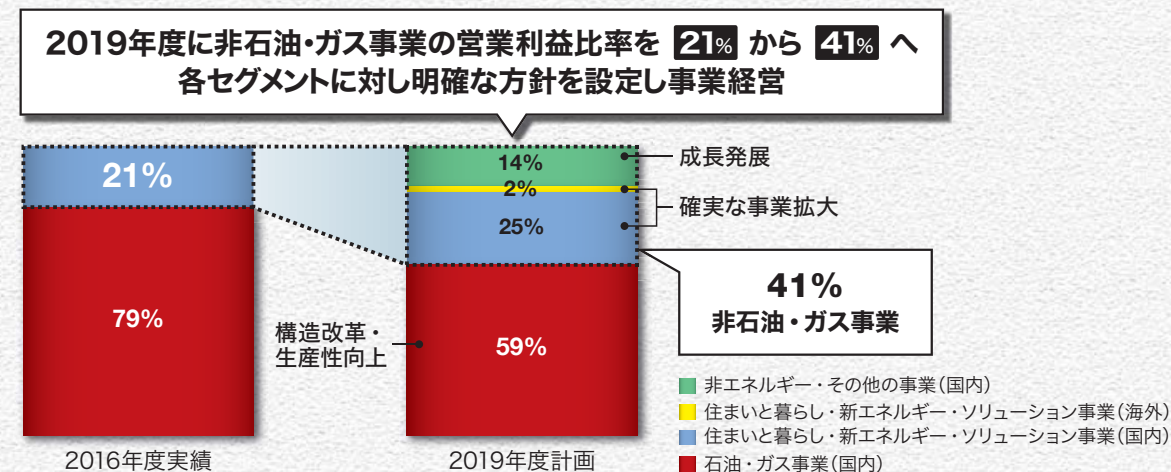
5 資本効率の高い事業ポートフォリオへの変革

各事業の投資に対するリターンを正確に評価し資本効率の高い事業ポートフォリオへ変革

6 次世代経営人材の育成

中長期的なグループの発展を牽引すべき、次世代の経営人材育成プログラム開始

グループ収益構造改革に向けた事業経営方針 連結営業利益構成比



ターゲット業績 連結営業利益48億円・ROE6.0%の達成を目指します

株主還元方針 配当性向30%以上を目安に配当維持します ※株主還元は、配当を基本とする

おかげさまで90周年



SINANEN GROUP

2017年
4月11日

シナネンホールディングスは 創業90周年 を迎えました。

シナネングループは1927年の創業以来、固形燃料から液体・気体燃料へ、取り扱うエネルギーは変わっても、人々の暮らしに寄り添い、快適生活の実現に貢献し続けてきました。

90年の大きな節目を迎えることができましたのも、ひとえにグループを支えてくださった株主の皆様方の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

2015年に「シナネンホールディングス」が誕生し、シナネングループは新体制となりました。持株会社体制の下、今後とも株主の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



シナネンの歩み



1927年

固形燃料事業で創業



1952年

石油事業を開始



1955年

LPガス事業を開始



2004年

木質チップ製造事業を開始



2014年

電力販売事業を開始

創業90周年
記念配当

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、普通配当75円とあわせて、25円の記念配当を実施することといたしました。これにより、年間配当金は1株当たり100円となります。

第11回 「いつもありがとう」 作文コンクール

シナネングループは、未来を担う子どもたちの健やかな成長と、地域の人々の豊かで安全な暮らしを支える社会貢献活動を推進しています。

シナネングループが2007年より取り組んでいる「いつもありがとう」作文コンクールが、今年で11回目を迎えます。

「普段言葉ではなかなか言えない感謝の気持ちを作文に書こう」という呼びかけで全国の小学生から作品を募集。毎年、30,000通を超える作品が寄せられています。小学生を対象とする作文コンクールとしては日本最大級の規模です。

本コンクールの開催は、家族の絆を生み出す感謝の気持ちを広げ、子どもたちの優しい気持ちと健やかな成長を応援するものです。

株主の皆様への感謝の気持ちを込めて、株主通信と共に作品集を同封しています。また、今回シナネングループは創業90周年を迎えることとなり、作文コンクールの作品の中から10作品をピックアップし、取材を元にエピソードを加えて再編集したものを書籍化しました。どうぞ一読ください。



第11回「いつもありがとう」 作文コンクールを開催中

同封の作品集をご覧ください。

「いつもありがとう」作文コンクール
主催：朝日学生新聞社
共催：シナネングループ
後援：文部科学省・朝日新聞社

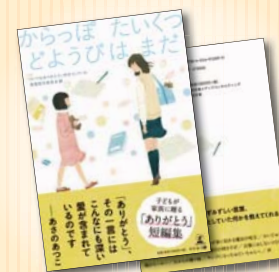
いつもありがとう作文

検索



90周年
記念

子どもが家族に贈る
「ありがとう」短編集
書籍発売中!! (全国書店にて)



『からっぽ たいくつ どうよびは まだ』
(「いつもありがとう」作文コンクール短編集)

シナネングループの社会貢献活動として過去10回にわたって開催してきた「いつもありがとう」作文コンクールの作品の中から10作品をピックアップし、作者への取材を元に前後のエピソードを加えて再編集したものを書籍化しました。(発行/幻冬舎)

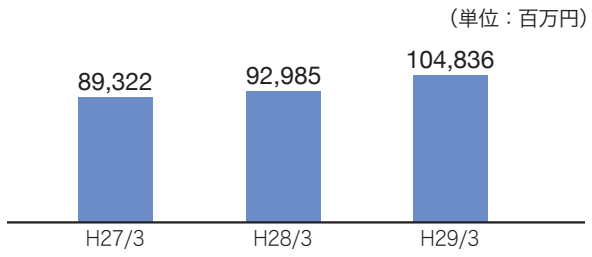
連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

科目	前期末	当期末
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	50,091	58,418
固定資産	42,894	46,418
有形固定資産	29,468	29,882
無形固定資産	2,943	5,201
投資その他の資産	10,481	11,334
資産合計	92,985	104,836

■ 資産合計 1,048億36百万円

当期末の総資産は1,048億円となり、前期末と比較して118億円増加しました。主な要因は、商品価格の上昇に伴い売上債権が増加したことによるものです。



科目	前期末	当期末
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
負債の部		
流動負債	31,369	42,444
固定負債	13,442	11,706
負債合計	44,812	54,151
純資産の部		
株主資本	46,923	48,795
その他の包括利益累計額	1,237	1,876
非支配株主持分	11	13
純資産合計	48,173	50,685
負債純資産合計	92,985	104,836

■ 純資産合計 506億85百万円

純資産は506億円となり、前期末と比較して25億円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加によるものです。

用語解説コーナー

「親会社株主に帰属する当期純利益」とは？ — 従来の当期純利益に代わって、非支配株主に帰属する損益(従来の少数株主損益)も含んだものを「親会社株主に帰属する当期純利益」という。2015年4月1日以後に開始する連結会計年度から、連結財務諸表における当期純利益の定義が変更された。

連結損益計算書（要旨）

科目	前期	当期
	(平成27年4月1日～平成28年3月31日)	(平成28年4月1日～平成29年3月31日)
売上高	209,112	218,242
売上原価	179,897	188,368
売上総利益	29,215	29,874
販売費及び一般管理費	25,710	26,939
営業利益	3,504	2,934
経常利益	4,274	3,424
税金等調整前当期純利益	3,391	3,815
法人税等合計	1,169	1,229
当期純利益	2,221	2,585
非支配株主に帰属する当期純利益	1	1
親会社株主に帰属する当期純利益	2,219	2,584

■ 営業利益 29億34百万円

営業利益は、前期比5億円(16.3%)減の29億円となりました。

■ 売上高 2,182億42百万円

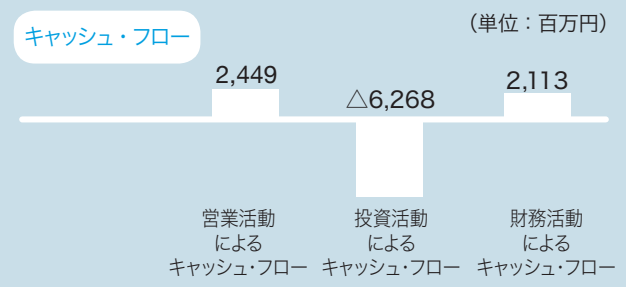
売上高は、石油製品の販売数量が前年実績を上回ったことから、2,182億円(前期比4.4%増)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科目	前期	当期
	(平成27年4月1日～平成28年3月31日)	(平成28年4月1日～平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,356	2,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,020	△ 6,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 997	2,113
現金及び現金同等物の期末残高	20,059	18,340

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー 24億49百万円

営業活動の結果得られた資金は24億円となり、前期と比較して9億円減少しました。この主な要因は、売上債権の増加と仕入債務の増加によるものです。



株主コミュニケーション

第83期上半期に行ったアンケート結果の一部をご報告いたします。

皆様からの貴重なご意見・ご要望を誠実に受けとめ、今後の経営やIR活動のさらなる充実に向け、取り組んでまいります。

株主様からのご意見



再エネ分野での安定した収益構造を期待しています。



伝統ある企業なので、新しい取り組みもしつつ、人を育て発展して欲しい。



顧客に信頼される価格設定で、信頼される企業として進んで欲しい。

シナネンホールディングスの回答

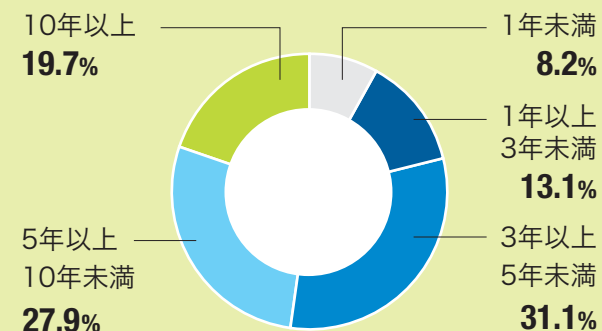
当社は、地球環境に優しいエネルギーの供給を手段とし、お客様の快適な住まいと暮らしを実現する「総合エネルギーサービス企業グループへの進化」を目指しています。P3、4でご紹介した「第一次中期経営計画」においても、再生可能エネルギー事業をはじめとした非石油・ガス事業の拡大に注力してまいります。

当社では、次世代経営人材の育成も重要な経営課題と位置づけています。事業環境の変化が速度を増す中で、次世代のシナネングループを牽引するリーダーを育成し、グループの持続的な発展を目指してまいります。

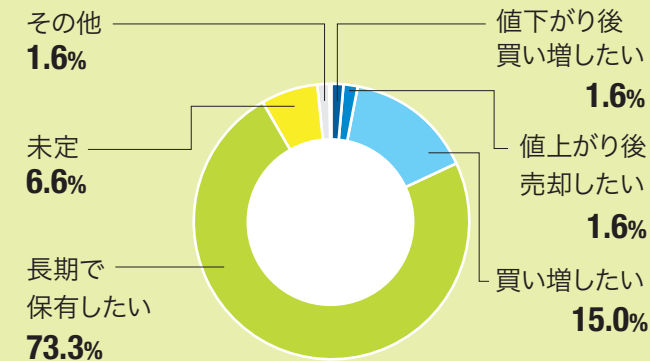
当社のコア事業であるLPガスの小売分野では、原料費の増減を販売価格に反映する「原料費調整制度」を導入しています。また、ホームページでの標準料金公開など、お客様が適正な価格のエネルギーを安心してお使いいただけるよう今後も積極的な情報公開を行ってまいります。

アンケート結果のご報告

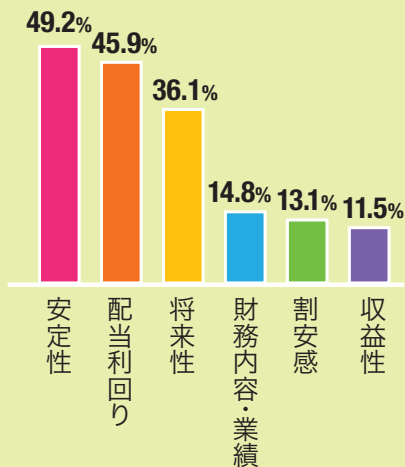
当社株式の保有期間はどのくらいですか？



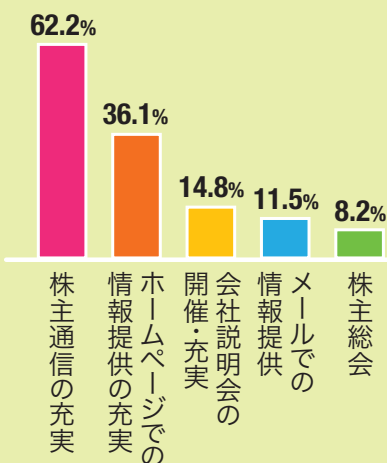
当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか？



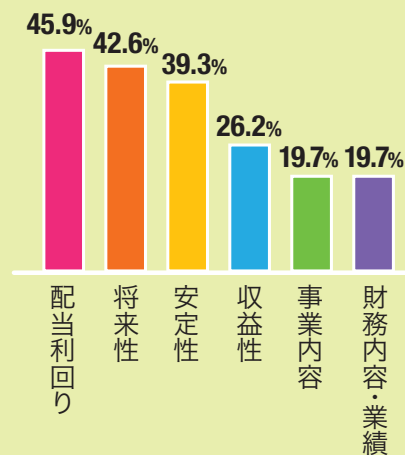
当社の株式を購入された理由は何ですか？ (複数回答可)



当社IR活動について、特に充実を希望されることは何ですか？ (複数回答可)



当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。 (複数回答可)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵 送 物 送 付 先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店・営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<http://www.sinanen.com/ir/koukoku.html>)ただし、やむを得ない事由によって、
電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

会社概要

● 会社概要 平成29年3月31日現在

商 号／シナネンホールディングス株式会社
本店所在地／東京都港区海岸一丁目4番22号
創 業／1927年4月11日
設 立／1934年4月25日
資 本 金／156億3,000万円
従 業 員／1,552名(連結) 56名(単体)

● 取締役 平成29年6月27日現在

代 表 取 締 役 社 長 崎 村 忠 士
常 務 取 締 役 清 水 直 樹
常 務 取 締 役 夢 野 裕 之
社外取締役(監査等委員)(常勤) 山 崎 正 毅
社外取締役(監査等委員) 重 森 豊
社外取締役(監査等委員) 篠 連

● シナネンネットワーク

シナネンホールディングス株式会社
〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号 03-5470-7100
ミライフ西日本株式会社
〒547-0004 大阪府大阪市平野区加美鞍作3-6-14 06-6794-4711
ミライフ株式会社
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー16階 03-5637-8450
ミライフ東日本株式会社
〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-7-30 022-239-5712
日高都市ガス株式会社
〒350-1233 埼玉県日高市下鹿山473 042-989-4041
シナネン株式会社
〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号 03-5470-7327
シナネンサイクル株式会社
〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号 03-5470-7121
品川開発株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-8 アトラス芝大門ビル2階 03-5425-4631
株式会社シナネンゼオミック
〒455-0051 愛知県名古屋市中川区中川本町1-1 052-653-3201
株式会社ミノス
〒105-0022 東京都港区海岸2-2-6 プレミア海岸ビル5階 03-6436-3871

